



生きものの“つぶやき”：

「そこのお嬢ちゃん、ちょっと私と遊んでいかない？」

エッセイ：

「(トキッ…!）」

祖母の畑仕事のお手伝いへ行った帰り道。どこからか感じる視線の先にあったのは、色っぽい雰囲気を漂わせ、こちらを見つめるダイコンでした。

まるでその姿はとあるバーのカウンター席を挟んだ先に立つ“ママ”と呼ばれる女性のように、見るうちに惹かれていくその姿に思わず写真を1枚。

そして私は「お綺麗ですね…」と思わず心の声が漏れてしまい、心拍数上昇。それは私が、

このダイコンの沼に墮ちた合図でした。

それからというもの、今でもそのダイコンのことが忘れられず、何度も会いに行ってしまうのでした。

これは私が、自然の力を味方にし、強く、美しく生きるダイコンに心を揺さぶられた体験です。

この大根を見て、生き物が強く生きられるように自然を大切にしていきたいと思いました。

(332 字)

生きものの紹介：

ダイコン：

アブラナ科・ダイコン族の越年草で、野菜として広く栽培されている。地中海または中央アジアが原産とされている。各地では主に肥大した根が食用とされているが、実は葉も食用となり、種子から油を採ることもある。根の部分は淡色野菜、葉の部分は緑黄色野菜である。

撮影場所・日時：

奈良県天理市 2024 年 4 月 2 日

応募者の自己紹介：

1. 氏名：宇陀 叶馨
2. 高校・学年：奈良文化高等学校・3 年
3. 所属：写真部

審査員からのコメント：

大根からセクシーさを感じた感性がユニークです。

写真もエッセイもとても良いと思いました。

一瞬の切り取りが見事です。応募者の愛情が伝わってきます。